

うじばしどおりしょうてんがい

宇治橋通り商店街

(宇治橋通商店街振興組合)

京都府宇治市宇治壺番

大学や近隣商店街との連携 「崖っぷち」からの発信と発進



取組の背景

観光客中心の取組 新型コロナで逆転

内外の安定的な観光客の流入、新規店舗の増加など、ポジティブな要素と、購買行動の変容に伴う地元客の流出や人口減少などのネガティブな要素が混在している。それを踏まえて、2014年度に「宇治橋通商店街振興組合中長期ビジョン2020」を策定し、情報発信の強化、地域団体等との連携強化、組織力の強化(組合

員の参加意識向上・コミュニケーション)、加盟店の集客力向上などに取り組み、インバウンド旅行者の増加に伴ってインバウンド対応にシフトしてきた。

中長期ビジョンの節目にあたる2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で訪日外国人観光客が激減した。外出自粛により特に飲食業が厳しい状況となったうえ、観光客の見込みが立たないことから、地域密着の商店街としての取り組みを進めていく必要に迫られた。

取組の内容

CanVasで育んだ連携 「崖っぷち弁当」を生む

京都文教大学のサテライトキャンパスを2007年に誘致し、2014年からは講義の枠を超え、学生主体の積極的な取組へと変化した。商店街とともに活動する「京都文教大学地域連携プロジェクト商店街活性化隊しあわせ工房CanVas」は、「地元の商店街を学生の力で元気にしたい!」をコンセプトに商店街の会員と学生とが連携し、さまざまな企画を実施している。会員へのヒアリング調査を基に、「ガイドブック」、「グルメ冊子」等を作成し、広報することで、商店街の魅力を発信するとともに、商店街としても「新たな魅力・課題」を再認識できるきっかけになる等の好循環が生まれている。

京都文教大学総合社会学科教員による住民参加型研究に、近隣の商店街(平等院表参道商店会・宇治源氏タウン銘店会)とともに当商店街も参画。共通課題として挙げられた「発信力の不足」を改善するため、ロゲイニングイベント等を実施。実施に向けた協議を通じて近隣の商店街との連携が深まっている。

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大のなかで商店街の売上が1割以下に陥るなか、飲食店を中心に共通の包

装紙を用意して、テイクアウトサービスの「崖っぷち弁当」を企画した。加盟店だけでなく、非加盟店の協力を得て、地元のタクシー会社と連携し、デリバリーサービスも導入するなど、地域連携も強化された。情報発信にSNSを活用し、スピード感もあり、なおかつ新たに商店街の魅力をアピールする取組を行った。これらの取組は多くのメディアでも取り上げられ、非常に注目された。



崖っぷち弁当

取組の成果

コロナ禍の取組
更なる連携を生む

「崖っぷち弁当」の取組の成果として、非加盟店にも参画を促し、販促ツールとして、商店街に加盟することのメリットを実感してもらった結果、商店街の加盟店が4店舗増えた。

商店街活性化隊CanVasについては、活動が学生たちの間でも話題となり、新たなメンバーが続々と入り、当初9名でスタートしたこの活動も現在50名を超える大きな組織となっている。

これらコロナ禍の「商店街のデジタル化」、「商店街内の部会の設立」等の取組事例を他の商店街と情報交換し、更なる地域連携を広げている。



CanVasの様子

実施体制

役員に若手を登用し、「しあわせ創造笑店街」をコンセプトに、来る人も店主も楽しくなるようなことをやろうというスタンスで活動している。平等院表参道商店会・宇治源氏タウン銘店会・京都文教大学とは「お茶街巡り協議会」の場を活用して平素から協

力・連携できる体制ができている。

特に京都文教大学の学生たちが主体となって活動している「商店街活性化隊CanVas」は2014年に結成されて以降、宇治橋通商店街振興組合公認の団体として年々メンバーが増え、学生の立場から商店街の魅力を発信するなど、商店街の活性化に大いに貢献している。

キーパーソンからのコメント

「人」が「連携」を生み、「連携」が「街」を育て、「街」が「人」を呼ぶ

8年前、理事長に就任してから「連携」を一つの重要方針としてきました。商店街は「人」が最も重要です。さまざまな場面でさまざまな人々と連携していくことで「賑わい」が生まれます。特に地元大学の京都文教大学さんとの連携のなかで、学生主体の商店街を応援するサークルが生まれたことは象徴的な出来事でした。加盟店のPRやホームページ制作の協力、独自イベ

ントなど学生目線の多彩な企画で、賑わいを創出してくれています。また、コロナ禍で生み出された「崖っぷち弁当」は加盟店間の連携で生まれた賜物です。コロナというピンチを起点として飲食店にとどまらず、全加盟店間そして近隣商店街との連携をさらに密にしてエリアのチャンスに広げていきたいと考えております。



宇治橋通商店街振興組合 理事長 佐藤至

商店街の概要

平等院、宇治上神社などの世界遺産の存在によって観光集客力のポテンシャルの高い「宇治」の駅前に位置する商店街。平安時代に起源を持つとされ、界限は文化庁の「都市の重要的景観」に認定されている。お茶の産地でもあり、歴史ある茶屋が多く、地域の歴史や文化を活かしたまちづくりが行われている。また最近では飲食店の新規出店も多く新たな賑わい創出の要因となっている。内外からの安定的な観光客の流入がある強みを活かし、近隣商店街・大学等と連携して、エリアとしての魅力づくりを進め、来街者を増やしていた。

所在地 京都府宇治市宇治壱番
人口 約18万人(宇治市)
電話 0774-21-2285
FAX 0774-21-4519

URL <http://www.ujibashi.jp/index.html>
会員数 64名
店舗数 64店舗(小売業38店、飲食業17店、サービス業1店、金融業3店、医療サービス業5店)

商店街の類型 複合型
主な客層 高齢者・国内観光客
/60歳代・40歳代